

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】

総合生活学科は、全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性が、次の基準に達している者に短期大学士(総合生活学)の学位を授与する。

【知識・技能】

- ・生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。
- ・選択科目群の総合的で学際的な学びをとおり、創造的に思考する技能を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。
- ・現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。
- ・社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。
- ・持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。

【主体性・多様性・協働性】

- ・実現可能なキャリアプランに向かって主体的に学習を深め、資格取得に資する力を有している。
- ・多様なものの見方や考え方を尊重し、人々と協働して学修を進める力を有している。

【総合生活学科のカリキュラムポリシー】

総合生活学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。

【教育課程の編成】

- ・学科基礎科目の必修科目として「総合生活論」「基礎ゼミ」「総合生活演習」、選択科目として「被服学」「調理学」「住居学」「情報社会論」「社会福祉概論」「家庭経営」「健康管理概論」「環境保全論」「消費生活論」「家族関係」「保育学」「被服構成基礎実習」「調理基礎実習」「住居デザイン基礎実習」「情報基礎演習」の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術の習得を中心とする専門科目を用意している。
- ・学科の選択科目は10科目群で編成し、「基礎デザイン」「ビューティーデザイン」「服飾デザイン」「住居デザイン」「フードデザイン」「情報・ビジネス」「心理」「コミュニケーション」を自らのキャリアプランに応じて科目を選択し総合的に学べるよう体系的なカリキュラムを編成している。
- ・各科目で身に付けた専門的知識・技能を基にして、応用力や実践力が身に付くよう、講義形式、演習形式、実験・実習形式など、科目の特性に応じた多様な方法で授業を行っている。
- ・以下の資格や免許等が取得できる科目編成をしている。
二級建築士・木造建築士(受験資格)、フードスペシャリスト、フードコーディネーター、秘書士、プレゼンテーション実務士

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果									
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)									
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2		
学科 基礎 科目	総合生活論	○				①「総合生活論」の理解を深めることができる ②図書館が利用できるようになり情報の取捨選択ができる ③目標達成のためのキャリアプランを描くことができる ④生活全般に関わる諸問題の基本が解決できるようになる ⑤ 総合生活学科の各科目の学び方が理解できる	◎			○						
	基礎ゼミ		○			①多様な演習授業をとおり様々な分野への理解を深めることができるようになる ②興味のある専門分野を選択する手がかりを得ることができる	◎			○						○
	総合生活演習 (担当:谷山 澤子)			○	○	①文化研究の意味が理解できるようになる。 ②研究したいテーマに関する資料の検索や収集ができるようになる。 ③研究成果をレポートまたは論文として作成することができるようになる。 ④研究成果を口頭で発表することができるようになる。 ⑤研究内容に関するディスカッションをとおり、コミュニケーション能力及び創造性を身に付けることができるようになる。		○	◎		○					◎

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果									
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)									
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2		
	総合生活演習 (担当:林 孝三)			○	○	Adobe PhotoshopとAdobe Illustratorを使って表現したいものを具現化できるようになる。		○				◎				
	総合生活演習 (担当:福井 愛美)			○	○	①「サービス接遇検定」2級及び準1級を取得することができる。 ②取材先に依頼状を作成して、アポイントメントを取ることができる。 ③取材対象者にインタビューすることができる。 ④インタビュー内容を記事として、まとめることができる。 ⑤活動を通して課題の達成ができる。						◎		○		
	総合生活演習 (担当:杉田 米行)			○	○	①身近なものやアメリカ、世界を結びつける能力を身につけることができる。 ②効果的な資料収集方法、分析方法を身につけることができる。 ③効率的なプレゼンテーションをする能力を身につけることができる。 ④人のプレゼンテーションに対して適切な質問をする能力を身につけることができる。 ⑤人の質問に対して適切な応答をする能力を身につけることができる。										◎
	総合生活演習 (担当:堀 桂太郎)			○	○	①ウェブページの基本を理解することができる。 ②簡単なウェブページを制作することができる。 ③JavaScriptの基礎を理解することができる。 ④ウェブページを用いて創造的な情報発信ができる。			◎					○		
	総合生活演習 (担当:古田 貴美子)			○	○	①フォーマルなドレスの型紙を作成することができる。 ②デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ③丁寧に縫製し、美しく仕上げることができる。	◎	◎						○		
	総合生活演習 (担当:細見 和子)			○	○	パン・和菓子作りの手順を身に付けることができる。	◎									◎
	総合生活演習 (担当:本保 弘子)			○	○	住宅設計を立体的に検討する手段として、また他者に住宅設計を説明する手段として有効に使える住宅模型を制作できるようになる。	○	◎	○				○		○	
	総合生活演習 (担当:西 奈保)			○	○	①情報収集の方法を習得し、自ら情報収集ができるようになる。 ②実習を計画的に実践できるようになる。 ③レシピとレポートの作成方法を習得し、レシピおレポート作成ができるようになる。	◎		○							○
	被服学	○				①被服に関する知識を身に付け、生活に役立てることができる。 ②状況に応じて美しく快適な服装ができる。	◎			○			○			
	調理学	○				①調理操作や食品の特性を理解し、理論に基づいた調理ができるようになる。 ②健康を考えたおいしい食事作りが実践できる。	◎								○	○
	住居学	○				様々な住居・住環境の課題に対して、自分自身で考える力を身に付けることができる。	◎		○	◎						
	情報社会論	○				授業を通して、次のことを目標とします。 ① 情報社会の基盤を構成する要素の理解ができる ② デジタル情報の本質が理解できる ③ 情報システムが生活に及ぼす影響について理解できる ④ 情報倫理やマナーについて理解、実践できる ⑤ 明日を生きる情報社会人になることができる			◎	◎					○	

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果									
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)									
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2		
	社会福祉概論			○		①社会福祉の意義と必要性について理解できるようになる。 ②社会福祉の思想・理念、基本原理について理解できるようになる。 ③社会福祉法制、社会福祉サービス体系について理解できるようになる。 ④社会福祉の援助対象と援助の視点について理解できるようになる。 ⑤社会福祉と人権・差別問題との関連について理解できるようになる。 ⑥社会福祉に関する専門職の概要と役割について理解できるようになる。	◎			○						○
	家庭経営(家庭経済を含む)	○				①家庭を巡る諸問題について客観的に理解し、自分の生活と関連づけて考えることができる。 ②経済循環の中の家計の役割を理解し、適切な家計運営の方法を知り実行できる。 ③消費の現状と問題点について知り、どのように対応したらよいか考えることができる。 ④家族の役割、女性の生き方について現状を知り、それをもとに自分のこれからの生活について考えることができる。	◎	○	○	○				◎		
	健康管理概論		○			健康管理の意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎									
	環境保全論	○				①地球温暖化問題、ごみ問題等、「環境」をめぐる諸問題について正しい知識を習得し、理解できるようになる。 ②身近な環境保全についての実践力(エコライフスタイル)を身に付けていくことができるようになる。	◎			○						
	消費生活論			○		①消費者問題が発生する背景や実態を理解することができる。 ②自立した消費者になるために必要な知識を習得し、情報の収集と選択ができる。 ③消費者として様々な問題についての的確に考え、周囲や次世代のことも考えた行動がとれる。	◎			○						
	家族関係		○			①家族概念の成立過程や歴史、文化、社会との関わりの中での家族の変容を知り、家族を広い視野で相対的に捉えることができる。 ②家族を関係学的視点で見ることにより、家族に生じる問題を客観的に考えることができる。 ③既成の家族観ではなく、自分の家族観をもつことができる。	○	○	○	◎				◎		
	保育学(実習を含む)	○				親として子どもを守り育てることの意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎			○						
	被服構成基礎実習	○				①スカートやブラウスの構成を理解し、型紙作成ができる。 ②基本的な洋裁道具を使うことができる。 ③速く正確にミシン縫いができる。	◎	○								
	調理基礎実習	○				①基本的な食品の扱いと調理技術を習得することができる。 ②日本料理、中国料理、西洋料理を取り入れた日常的な食事作りができるようになる。	◎								○	○
	住居デザイン基礎実習	○				①基礎的な図面表現の技術が修得できる。 ②設計に必要な室内照度環境とユニバーサルデザインの基礎知識が修得できる。	◎	○							○	
	情報基礎演習		○			①エクセルによる基本的な計算処理ができる。 ②エクセルによる基本的なグラフ作成ができる。 ③エクセルによる基本的なデータベース処理ができる。 ④パワーポイントを用いたプレゼンテーションデータの作成ができる。		◎	◎						○	

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果											
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)											
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2				
基礎デザイン 選択科目 ビューティデザイン	色彩学	○				①色彩検定3級程度の基礎的知識を身に付けることができる。 ②配色について学び、実践的に取り組むことができる。 ③色彩の多様な世界に触れ、日常生活の中に生かしていくことができるようになる。	◎						○					
	デッサン演習	○				主題の形を正確に描けるようになる。		◎					○					
	CG演習Ⅰ(グラフィック)	○				複数の画像処理を学ぶことによって、相手に自分のイメージするデザインを正確に伝えることができるようになる。		◎	○				○					
	CG演習Ⅱ(ビジネス文書)		○			グラフィックソフトを用いてどのような文書がよりわかりやすいのか、理解力と実践力を身に付けることができるようになる。		◎	○				○					
	デザイン論		○			生活全般にかかわっているデザインに関心・興味を持つことができるようになる。	◎							○				
	ブライダル・プランナーⅠ	○				日本のブライダルについての基礎知識を理解できるようになる。	◎						○		○			
	ブライダル・プランナーⅡ		○			世界のブライダル事情が理解できるようになる。	◎						○		○			
	ブライダルコーディネート論			○		①ブライダルの歴史や関連する基礎知識を理解できるようになる。 ②日本従来のしきたりや文化を理解すると共に、現在の流行や最新のブライダルについて理解できるようになる。 ③ブライダル業界で求められるコミュニケーションスキルの必要性を理解できるようになる。	◎						○		○			
	ブライダルコーディネート演習				○	①ブライダル知識を体験することでより深く理解できるようになる ②ワークをとおして、企画力・想像力・実践力が身につけることができる	◎						○		○			
	メイクアップ論	○				①社会人になるための女性として必要な正しいスキンケア・メイクアップができるようになる。 ②化粧品の成分やその効果を理解することで、肌にあう化粧品の選び方や肌トラブルを未然に防ぐことができる。 ③顔型・顔のプロモーション・パーソナルカラーを習得することで個人の魅力を演出することができるようになる。									◎			
	メイクアップ演習			○		①メイクアップ論での内容を実践することで、自己流メイクで理解できていなかった顔のプロモーションやパーツバランス、アンダートーンにあったメイクができるようになる。 ②技術を向上させることで、第一印象(好感度)をアップさせ印象管理の重要性を理解・表現できる。 ③メイクセラピー検定試験 2級認定資格がとれるようになる。 ④就活メイクができるようになる。 ⑤社会人になった時の個人の演出メイクができるようになる。									◎			
	ネイルアート演習Ⅰ	○				①正しいネイルケアの知識と技術を身につける。 ②社会に通用するネイルデザインやカラーを学ぶことで、知的で清潔感のある女性を目指す。										◎		
	ネイルアート演習Ⅱ		○			①正しいネイルカラーリングの知識と技術を身につける。 ②ネイルアートの技術を身につけることで自己表現につなげる。										◎		

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果											
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)											
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2				
選択科目	洋裁基礎演習		○			①デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ②縫製技術を理解し、道具を正しく使用することができる。 ③ワンピースを美しく仕上げることができる。	◎	○										
	被服材料学		○			①繊維の種類と特徴、糸や布の構造と性質を理解することができる。 ②被服に要求される性能を考えて、目的に合った被服材料を選択することができる。 ③アパレル商品の選択に関して、素材と縫製の知識を役立てることができる。	◎			◎			○					
	繊維学実験法		○			①織物、糸、繊維の実験法を理解することができる。 ②試料作りの大切さを理解することができる。 ③実験結果を図表にまとめ、考察することができる。 ④実験レポートを作成することができる。	○	◎	○									
	被服構成実習(和裁)				○	①平面構成の衣服である着物の特徴を理解することができる。 ②ゆかたの部位に適した縫い方を理解することができる。 ③手縫いでゆかたを縫うことができる。	◎	○										
	染色学				○	①繊維によって用いられる染料が異なることを理解することができる。 ②自然の草木が染料になることを理解することができる。 ③身近な素材を使って染色することができる。		◎						○				
	ファッションデザイン論				○	①服飾の変遷を学ぶことで、その時代性と衣服の関係を理解し、デザインの基本論理から衣服におけるデザインと機能について理解を深める事ができる。 ②学んだ知識をもとに、実生活において活用することができるようになる。							○			◎		
	ファッションビジネス論				○	①ファッションビジネス基礎知識とマーチャンダイジング戦略の認識を習得することができる。 ②チームで企画を作り上げることにより、コミュニケーション力を高めることができる。							○			◎		○
	住まいの法規	○				住まいに関する法律が、わたしたちの身近な住環境や社会環境に、いかに関わっているかを理解することができます。				○				○		◎		
	住まいの施工	○				住まいに関する施工をとらえて、建物をつくるとはどういう事かを「人」「もの」「経済」「環境」といった視点で理解ができるようになります。				○						◎		
	住まいの構法		○			在来構法 木造一戸建住宅の主要な骨組を理解できるようになる。	○	○								◎		
	インテリアコーディネート概論		○			①インテリアコーディネートの基礎を体系的に理解できるようになる。 ②住まいのインテリアコーディネートに役立つ知識を得ることができる。	◎	◎	○				○			○		
	インテリア設計製図		○			インテリア設計製図の基礎的な技法が修得できる。	○	◎				○				◎		
	建築CAD演習		○			①CADの基本操作を習得し、図面作成の基本と2次元、3次元の視点の理解を習得し図面を作成することができるようになる ②作成した図面をプレゼンテーション資料としてまとめることができるようになる ③習得したCADを用いて、自分で家具を設計し、3次元で検討して具現化できるようになる		◎				○				◎		
	インテリアデザイン論				○	インテリアデザインの基礎的事項を体系的に理解できる。	○	◎	○				○			◎		
住居計画学				○	住宅の可能性について主体的に考えることができるようになる。		◎				○				◎			
住宅デザイン実習Ⅰ				○	木造住宅と鉄筋コンクリート住宅の設計製図の基礎的技法が修得できる。	○	◎				○		○		◎			
住宅デザイン実習Ⅱ				○	木造住宅、鉄筋コンクリート住宅の設計を理解し、平面図、配置図、断面図、立面図をかけるようになる。	○	◎				○		○		◎			
住まいの構造				○	①建築物の構造力学的な安全性に関する基礎的な知識を習得する。 ②住まいの構造を建築設計と絡めて理解できるようになる。		○								◎			

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果									
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)									
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2		
住居デザイン	住まいの材料				○	自分の身の回りを含めて、いままで何気なく見ていた材料にそこに使われている必然性を知り、インテリアの知識を深めることができます。		○					○	◎		
	宅地建物と法	○				宅地建物に関連する法令の基礎知識を習得できる。	○			○				◎		
選択科目	フードデザイン	製パン・製菓実習	○				パン、洋菓子、和菓子の正しい手法や技術を習得することができる。	◎								○
		調理学実習Ⅰ		○			①健康や食の安心安全を前提とした食事作りができるようになる。 ②行事食について学び、食文化など多面に渡って食を理解できる。		○					◎		○
		調理学実習Ⅱ			○		①基本的な調理技術を基に、応用した調理ができるようになる。 ②年代に合った食事作りが実践できるようになる。		○					◎		○
		栄養学		○			栄養学の知識を身に付け、自分やまわりの人々が健康な生活が実践できるようになる。	◎							○	
		食品学		○			食品に関する多くの情報から正しい選択ができる能力を身に付けることができるようになる。	◎							○	
		食品加工学			○		加工食品の多様化、複雑化に対応できる正しい知識が理解できるようになる。	◎							○	
		食品学演習			○		食品に関して基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。	◎							○	○
		フードコーディネータ論			○		①フードコーディネータが食生活に果している役割と価値を理解できる。 ②フードコーディネータ論の基礎知識が習得できる。		○					◎		
		ライフステージ栄養学				○	①各年代に応じた栄養の必要性を理解できる。 ②健康維持・病気予防のための食生活管理ができるようになる。		○		◎					
		食品加工学実習				○	食品の加工内容の多様化、加工技術の複雑化に対応できる正しい知識が身に付くようになる。	◎							○	○
		食品衛生学				○	①「食の安全」がいかに重要かを認識できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③フードスペシャリストやフードコーディネーター、消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解・習得できる。		○						◎	
		フードスペシャリスト論				○	フードスペシャリストが具備すべき基本知識が習得できる。		○						◎	
		食生活論				○	食生活を楽しむための知識を身に付けることができる。		○						◎	
		フードコーディネーターの基礎			○		フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。		○						◎	
		フードコーディネーター実習				○	①基本的なセッティングの約束ごとと、コーディネータアイテムとカラーコーディネータの基礎知識を理解できる。 ②フードコーディネーターとして「おいしいものをよりおいしく食べるための食空間演出」ができるようになる。		○						◎	○

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果										
		1年次 2021		2年次 2022			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)										
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2			
	情報科学		○			授業を通して、次のことを目標とします。 ① デジタルデータの表現が理解できる。 ② コンピュータの仕組みが理解できる。 ③ データ通信の仕組みが理解できる。 ④ 情報社会のなかで適切に情報機器を利用できるようになる。		◎									
	コンピュータと情報発信			○		授業を通して、次のことを目標とします。 ① ウェブページの作成、保守管理ができる ② ウェブページのデザインができる ③ 多様なメディアの特徴を理解し、適切なメディアを利用した情報発信ができる	○	◎	○	○	○						
	秘書ビジネス論	○				① 新人として働くための心構えと基本的姿勢を身に付けることができる。 ② 組織の一員として働く意義を理解できる。 ③ 文書実務等の基本業務に関する知識を深めることができる。 ④ 組織コミュニケーションの意味を理解できる。 ⑤ ビジネス活動に関する知識を深めることができる。 もって、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的な取り組みを深める力を高める。	○								◎		
	秘書実務Ⅰ		○			① 組織で働く時の基本的な姿勢を身に付けることができる。 ② オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 ③ 職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。	○									◎	
	秘書実務Ⅱ		○			① 直前の「秘書実務Ⅰ」で学んだ内容をすぐに実行できる。 ② 職場でのコミュニケーション力を身に付けることができる。 ③ 基本的な社内・社外文書をパソコンで作成できる。 ④ ビジネスの慶弔業務、出張業務を身に付けることができる。 ⑤ 来客の対応、電話の対応を身に付けることができる。 ⑥ 社会人としてのマナーを身に付けることができる。	○			○						◎	
	社会調査論			○		社会調査の意義、手法、サンプリング、データの読み込み方を理解のうえ、まとめのプレゼンテーションができるようになる。				○	◎						
	マーケティング論		○			① 商品開発や販売方法などマーケティングの基礎知識を習得することができる。 ② 消費者の満足度を高める視点の大切さを把握できる。 ③ 食品流通の分野におけるマーケティングの役割が理解できる。 もって、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的な取り組みを深める力を高める。					○					◎	
	経営会計実務処理			○		① 企業の財務諸表(貸借対照表、損益計算書)に関する基礎知識を理解することができる。 ② 企業活動を記録する仕訳の方法を学び、仕訳ができるようになる。 ③ 決算時特有の修正項目について基本的な考え方を把握できる。 もって、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的な取り組みを深める力を高める。	○				◎						
	医療事務概論		○			① 医療保険制度のしくみや、保険証の見方がわかるようになる。 ② 簡単な治療代の算定と保険請求事務ができるようになる。 ③ 医療従事者のあり方について考えるようになる。	○									◎	

選
択
科
目

情
報
・
ビ
ジ
ネ
ス

2021年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果										
		1年次 2021		2年次 2022			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)										
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2			
選 択 科 目	コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション			○	①TPOに合わせたコミュニケーションが取れるようになる。 ②意見交換や会議での意見集約ができるようになる。 ③アサーティブな態度で意見を主張することができる。 ④効果的な資料作成ができるようになる。 ⑤企画・提案のプレゼンテーションができるようになる。						◎				○	
		日本語表現	○			①誠意をもって話しを聞き、話しを展開させることができる。 ②話しの内容を簡潔にまとめて分かりやすく話すことができる。 ③大学生活や社会に対応できる正しい敬語表現ができる。 ④原稿用紙の用法を理解し、テーマに即したレポートを書くことができる。	○					◎					
		ビジネス英語コミュニケーションⅠ			○	①ビジネスに必要な基礎的な語彙や表現を英語で使うことができるようになる。 ②様々なビジネスの状況に応じた基礎的な英語でのコミュニケーションができるようになる。 ③ビジネスに必要なビジネスレターなどの文書を英語で作成できるようになる。	○						◎				
		ビジネス英語コミュニケーションⅡ			○	①ビジネスに必要な語彙や表現を英語で使うことができるようになる。 ②様々なビジネスの状況に対応するための英語のコミュニケーションができるようになる。 ③ビジネスに必要なビジネスレター、注文書、詫状などの文書を英語で作成できるようになる。	○						◎				
		実践資格英語Ⅰ	○			①Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる。 ②Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる。 ③英語の語彙を増やし、場面に合った文法が使えるようになる。	○						◎		○		
		実践資格英語Ⅱ			○	①Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる。 ②Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる。	○						◎		○		
		中国語コミュニケーションⅠ			○	①中国語を正しく発音する、聞き取ることができるようになる。 ②基本的な文法規則と語彙を用いた応答表現ができるようになる。 ③中国語の構造や言語的特徴を理解できるようになる。							◎				
		中国語コミュニケーションⅡ			○	①中国語を正しく発音する、聞き取ることができるようになる。 ②基本的な文法規則と語彙を用いた応答表現ができるようになる。 ③中国語の構造や言語的特徴を理解できるようになる。							◎				